

さ　ど　わら　ちょう　ない　い　せき  
**佐土原町内遺跡Ⅶ**

—開発事業に伴う事前試掘・確認調査報告書—

2004. 3

宮崎県宮崎郡佐土原町教育委員会

# 序

佐土原町は県都宮崎市に隣接し、宮崎空港へのアクセスに恵まれ、近年、宅地造成・道路建設・工業団地造成・農業基盤整備等の開発が町内全域にわたって行われています。

そこで、佐土原町教育委員会では、町内の埋蔵文化財を後世に適切に継承する手立てとして平成元年度から2年度にかけて「佐土原町遺跡詳細分布調査」を行いその報告書を作成しました。

以後、諸開発事業の実施前に前記報告書に基づき試掘・確認調査を行い、遺跡の保護のために必要な措置を講じて参りました。

これまで平成9年度から14年度にかけて「町内遺跡Ⅰ～Ⅵ」を発行してまいりましたが、ここに、平成15年度に実施しました町内遺跡の試掘・確認調査の結果を「町内遺跡Ⅶ」として報告いたします。

この報告書が、佐土原町の文化財を保護していく上での資料となり、さらに、学術資料はもとより文化財への理解・認識を深める一助として、広く教育・研究の場等でご活用いただければ幸いに存じます。

最後になりましたが、調査にあたり関係各位よりいただきましたご指導・ご協力に対しまして心よりお礼申し上げます。

平成16年3月

佐土原町教育委員会  
教育長 菊池 俊彦

## 例　言

1. 本書は、各種開発事業に伴い佐土原町教育委員会が文化庁・宮崎県教育委員会の補助を受け実施した町内遺跡の試掘・確認調査の報告書である。
2. 試掘・確認調査は、各種開発事業主の依頼を受け佐土原町教育委員会が実施主体となり、平成15年度に社会教育課文化財係が行った。
3. 試掘・確認調査は、平成15年4月21日～23日、5月28日～7月24日までの2期間行った。
4. 本書に使用した写真は、木村が撮影し、空中写真は、株式会社九州航空に委託した。
5. 県営農免農道巨田3期地区整備事業の地質については、宍戸地質研究所　宍戸章氏に調査を依頼した。
6. 本書で使用した位置図は、国土地理院発行の5万分の1図を基に作成した。また、周辺地形図は2500分の1図を基に作成した。
7. 出土遺物は、佐土原町教育委員会（佐土原町出土文化財管理センター）で保管している。
8. 色調は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修「新版　標準土色帖」による。
9. 方位は磁北、レベルは海拔高である。
10. 本書の執筆・編集は、社会教育課文化財係主幹　木村明史が担当した。

# 本文目次

第1章 はじめに	
第1節 調査に至る経緯	2
第2節 調査の組織	2
第2章 佐土原町の環境と調査地の概要	
第1節 佐土原町の環境	2
1. 自然環境	2
2. 歴史的環境	3
第2節 調査の目的	3
第3節 各遺跡の位置と環境の概要	3
1. 西ノ城遺跡	3
2. 仲間原第1遺跡	3
第3章 試掘・確認調査	
第1節 西ノ城遺跡	4
第2節 仲間原第1遺跡	9
第4章 おわりに	32

## 挿図目次

第1図	平成15年度町内遺跡試掘・確認調査地（位置図）	1
第2図	西ノ城遺跡調査区図	4
第3図	仲間原第1遺跡調査区図	9

## 図版目次

図版1	西ノ城遺跡調査地	5
図版2	西ノ城遺跡調査地平面図	6
図版3	西ノ城遺跡土層断面図	7
図版4	西ノ城遺跡遺構写真	8
図版5	仲間原第1遺跡調査地	10
図版6	仲間原第1遺跡調査地平面図	11
図版7	仲間原第1遺跡土層断面図（1）	12
図版8	仲間原第1遺跡土層断面図（2）	13
図版9	仲間原第1遺跡土層断面図（3）	14
図版10	仲間原第1遺跡土層断面図（4）	15
図版11	仲間原第1遺跡土層断面図（5）	16
図版12	仲間原第1遺跡土層断面図（6）	17
図版13	仲間原第1遺跡土層断面図（7）	18
図版14	仲間原第1遺跡土層断面図（8）	19
図版15	仲間原第1遺跡土層断面図（9）	20
図版16	仲間原第1遺跡土層断面図（10）	21
図版17	仲間原第1遺跡土層断面図（11）	22
図版18	仲間原第1遺跡土層断面図（12）	23
図版19	仲間原第1遺跡土層断面図（13）	24
図版20	仲間原第1遺跡作業風景写真	25
図版21	仲間原第1遺跡遺構写真（1）	26
図版22	仲間原第1遺跡遺構写真（2）	27
図版23	仲間原第1遺跡遺物写真（1）	28
図版24	仲間原第1遺跡遺物写真（2）	29
図版25	仲間原第1遺跡遺物実測図（1）	30
図版26	仲間原第1遺跡遺物実測図（2）	31

# 佐土原町全図



第1図 平成15年度町内遺跡試掘・確認調査地

# 第1章 はじめに

## 第1節 調査に至る経緯

今回の報告書（佐土原町内遺跡Ⅵ）は、平成15年度実施の西ノ城遺跡と仲間原第1遺跡の試掘・確認調査の報告書である。それぞれの調査について、事前の事業説明が行われ、開発予定地の試掘・確認調査を行い、調査結果を関係者に報告した。

### （1）西ノ城遺跡

平成15年2月17日にジェイフォン株式会社から携帯・自動車電話等の無線基地局建設に伴い文化財の所在の有無についての照会が提出された。開発予定地には、周知の埋蔵文化財包蔵地・西ノ城遺跡が存する。そこで開発の事前に確認調査を実施することとした。

### （2）仲間原第1遺跡

平成15年度着工予定の県営農免農道畠田3期地区整備事業（宮崎県中部農林振興局主体）の開発予定地には、周知の埋蔵文化財包蔵地・仲間原第1遺跡が存する。そこで佐土原町農政課と協議し、開発の事前に確認調査を実施することとした。

## 第2節 調査の組織

### 平成15年度

調査主体	佐土原町教育委員会	教 育 長	菊池 俊彦
	〃	社会教育課長	年見 秀雄
	〃	同課長補佐	泉 俊一郎
調 査 担 当	上 幹	木村 明史	
庶 務 担 当	主任主事	清 正	
特別調査員	穴戸 地質研究所	所長	穴戸 章
	佐土原城跡歴史資料館	館長	赤木 達也
出 土 遺 物 整 理 員			

# 第2章 佐土原町の環境と調査地の概要

## 第1節 佐土原町の環境

### 1. 自然環境

佐土原町は、東側は日向灘に面し、一年の年平均気温は17度で比較的温暖な気候である。北側は、九州山脈を頂く台地群が点在する。町の総面積は、56.84km<sup>2</sup>を有する。地形は、北西部に都於郡・仲間原台地、その南に船野台地、その南東に年居台地が東西方向に延びる。また、仲間原台地の北側には庵野田・上田島丘陵で構成され東南の佐土原丘陵に連なる。一つ瀬川沿いは、一つ瀬川低地と広瀬海岸低地で形成される。宮崎市寄りの海岸沿いから西側に向かって砂丘列が並ぶ。

## 2. 歴史的環境

佐土原町は、旧石器時代から縄文時代にかけて船野台地を中心として船野遺跡・上ノ原遺跡・長蘭原遺跡・上ノ追跡等の遺跡が点在する。弥生時代では、佐土原丘陵南端の下那珂遺跡において、前漢鏡の一種であるき竜文鏡と100基以上の方形住居が確認された。また、海岸沿いの伊賀給遺跡や下ノ山遺跡からは水田跡が確認された。古墳時代では、同じく佐土原丘陵南端上の土器田東1号から線刻画を有する古墳が確認されている。その他に佐土原町古墳、那珂村古墳、広瀬村古墳など約150基近くが県指定になっている。

さらに奈良・平安期の遺跡として佐土原丘陵西側の下村窯跡群が確認され、10基の窯が検出され須恵器・瓦が大量に出土し、南九州最大の古代窯跡群であることが確認された。またこの窯跡群から出土した遺物は、西都市国分寺跡の出土品と類似するので同窯が供給窯と考えられる。

中世期にはいると、佐土原では田島伊東氏の支配が開始される。最初の拠点に古城を築き田島一帯を治め、近世期にかかると佐土原丘陵東端部に佐土原城を構え、北側に「ツ瀬川を有して日向支配の中心とした。その後、佐土原城主は天正から慶長にかけて島津家久（宗家第15代貴久の子）とその子豊久が佐土原を治めるが、関ヶ原の戦いで豊久が戦死したため佐土原は一時徳川幕府の支配となる。慶長8年（1603）に島津以久（宗家第15代貴久の弟、忠将の子）が佐土原3万石の初代藩主として封じられてから、第10代忠寛までの約270年間、佐土原藩として再び島津家によって治められることとなった。

中世期から江戸期の間、佐土原には寺院が建立されたが、廃仏毀釈によりその多くが廃寺になった。現存する大光寺・高月院などは、当時から続く数少ない寺院である。

近代には、日向の中心は佐土原から現在の県都宮崎市へと移っていくが、西南の役に参戦し戦死した第10代忠寛の第3子の島津啓次郎を中心とした動きや広瀬の瓢箪島所在といわれる西郷札の製作所など歴史に残る出来事が多い。

現代は、立地・交通の利便性から大手企業系の工場の操業開始やテクノリサーチパーク（工業団地）へのハイテク産業の誘致など、産業活動が活発に行われるようになってきた。

## 第2節 調査目的

県、町及び民間の各種整備事業に伴う開発事業と文化財保護の調和を図り、事業を円滑に推進するために遺跡の試掘・確認調査を行う。

## 第3節 各遺跡の位置と環境の概要

### 1. 西ノ城遺跡

西ノ城遺跡は、佐土原町南部の佐土原丘陵南端縁辺部に位置し、標高約42mに立地する。丘陵東側は、先史・古代遺跡の散布地が多く点在する。

### 2. 仲間原第1遺跡

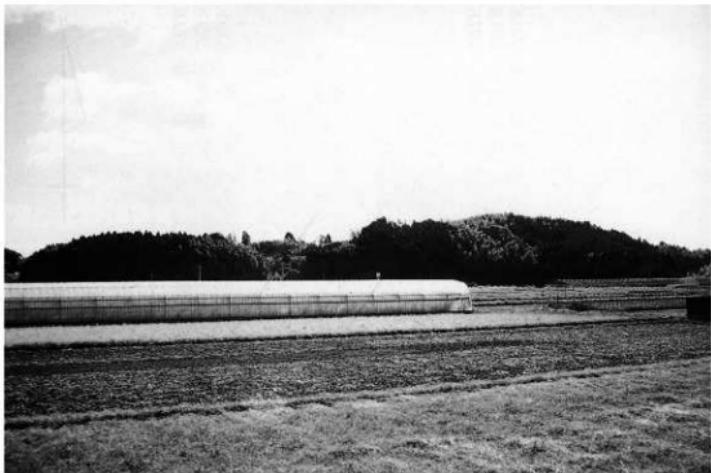
仲間原第1遺跡は、佐土原町の西部の都於郡・仲間原台地東端に位置し、標高約100mに立地する。遺跡周辺は、先史・古代遺跡の散布地が多く、また台地北東縁辺部は、県指定横穴が34基点在する。東南方向には、同じく県指定の佐土原城跡を構えている。

## 第3章 試掘・確認調査

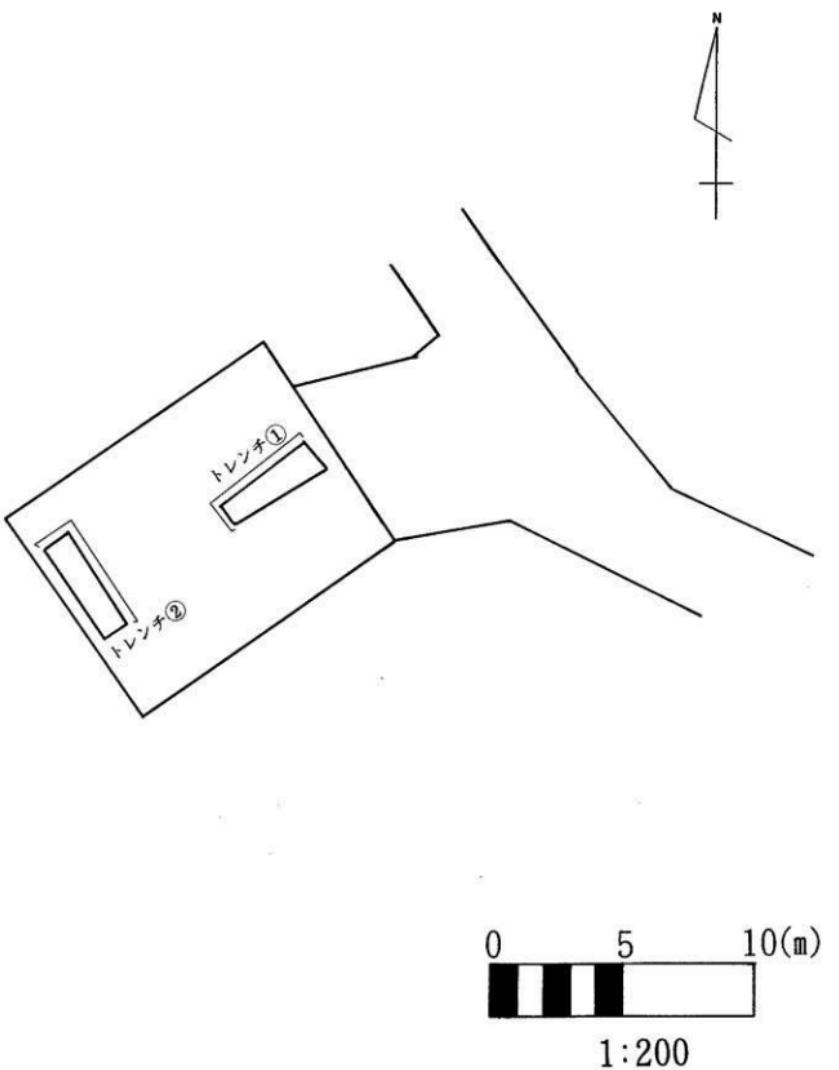
### 第1節 西ノ城遺跡

市町村名	佐土原町	調査主体	佐土原町教育委員会	調査担当者	木村 明史
遺跡名	西ノ城遺跡	所在地	佐土原町大字下那珂字西ノ城		
調査原因	携帯・自動車電話等通話品質改善のための無線基地局の建設	調査面積	225m <sup>2</sup> (トレンチ面積: 23m <sup>2</sup> )		
調査期間	平成15年4月21日～4月23日	調査後の処置	消滅		
遺跡の種別	散布地	遺跡の主な時代	中世・近世城郭		
検出遺構	なし				
出土遺物	なし				
特記事項	後世の耕作等により層序が攪乱を受けており、現状においては遺構が確認できない。				

第2図 西ノ城遺跡調査区図

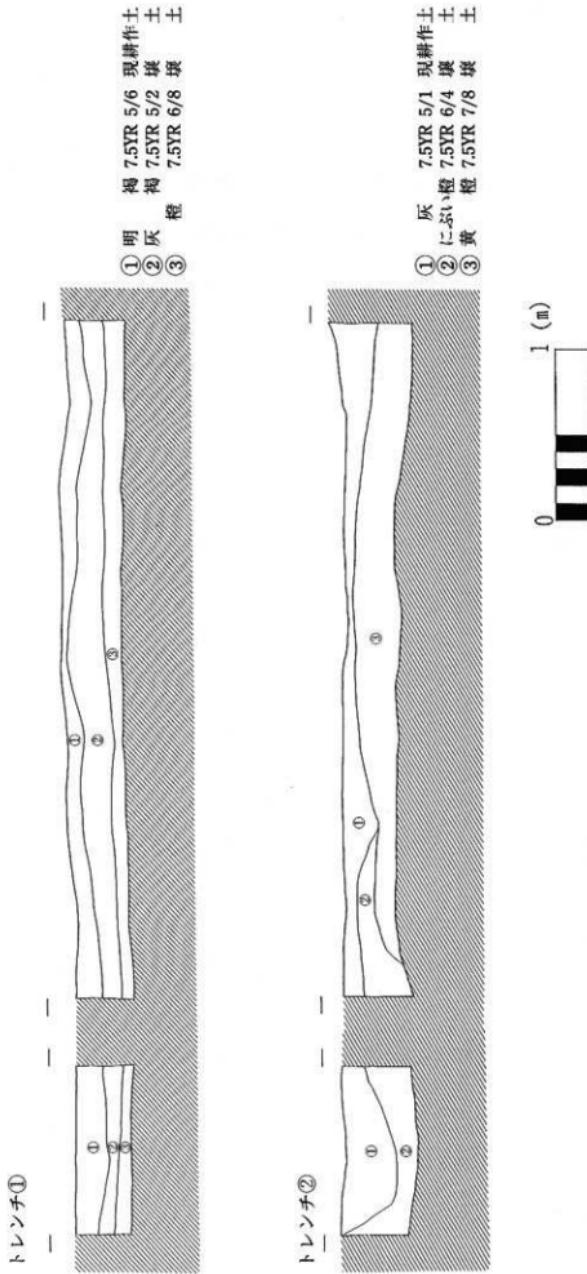


西ノ城遺跡調査地



西ノ城遺跡調査地平面図

西ノ城遺跡土層断面図

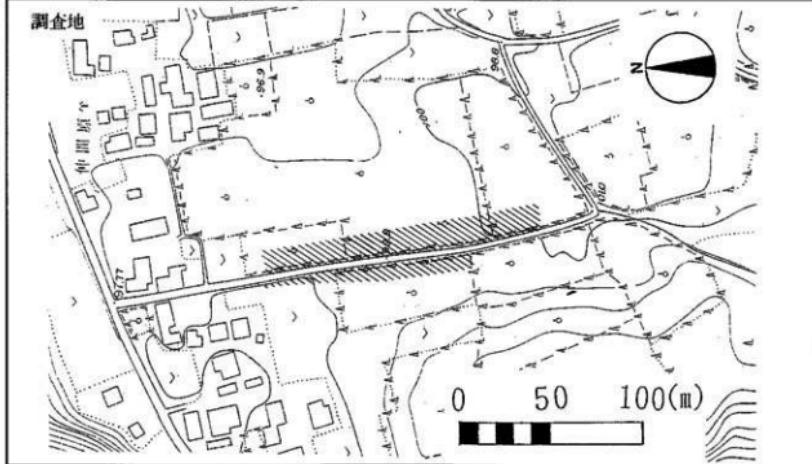




西ノ城遺跡遺構写真

## 第2節 仲間原第1遺跡

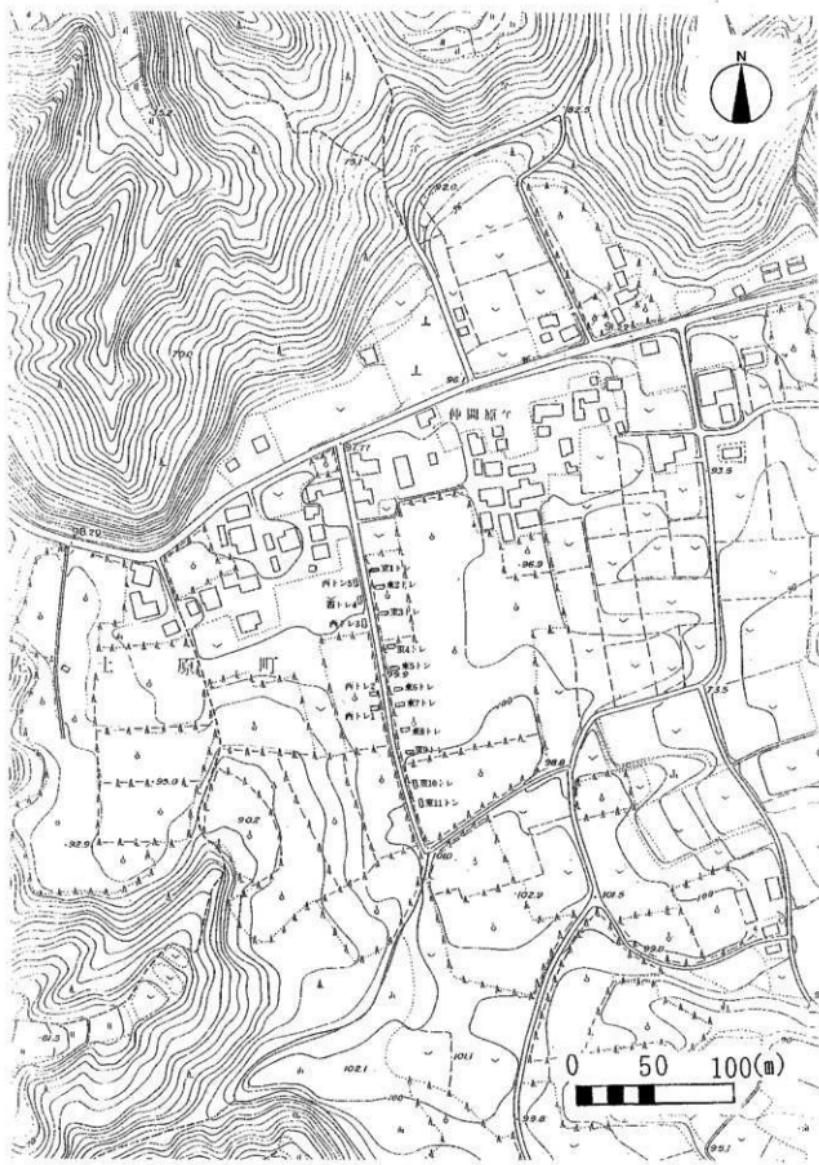
市町村名	佐土原町	調査主体	佐土原町教育委員会	調査担当者	木村 明史
遺跡名	仲間原第1遺跡	所在地	佐土原町大字上田烏字仲間原		
調査原因	県管農免農道整備事業	調査面積	1,000m <sup>2</sup> (トレンチ面積: 32m <sup>2</sup> )		
調査期間	平成15年5月28日～7月24日	調査後の処置	消滅		
遺跡の種別	散布地	遺跡の主な時代	縄文・弥生・近世		
遺構出	なし				
遺物出土	石器(7点)、弥生土器片(2点)、土師器(18点)、陶器(6点)、磁器(7点)				
特記事項	<p>調査範囲の中央部付近は自然地形の凹地に相当するとみられ、このような部分では、流入遺物はあっても遺構が残存している確率は低いと考えられる。道路部分や道路より低位置の畠は、元の地形を削平し、あるいは、表層を搅乱して農耕している可能性が高いので、これらの部分では遺構が残存している可能性は低く、また遺物があってもローリングされている。層序は、3つのローム層で形成される。</p> <p>上層部：黒色土をベースに、一部にアカホヤ火山灰がみられる。地層の年代は1万年土以降である。</p> <p>中層部：半固結した黄褐色土をベースに、最下部にイワオコシ（最大層10cm）を伴う。地層の年代は3～4万年前である。</p> <p>下層部：軟質の明褐色粘性土で、層としてははっきりしないが下部を中心に、石英を含むことが多い。（いわゆるキンキラローム）地層の年代は5万年土前である。</p>				



第3図 仲間原第1遺跡調査区図

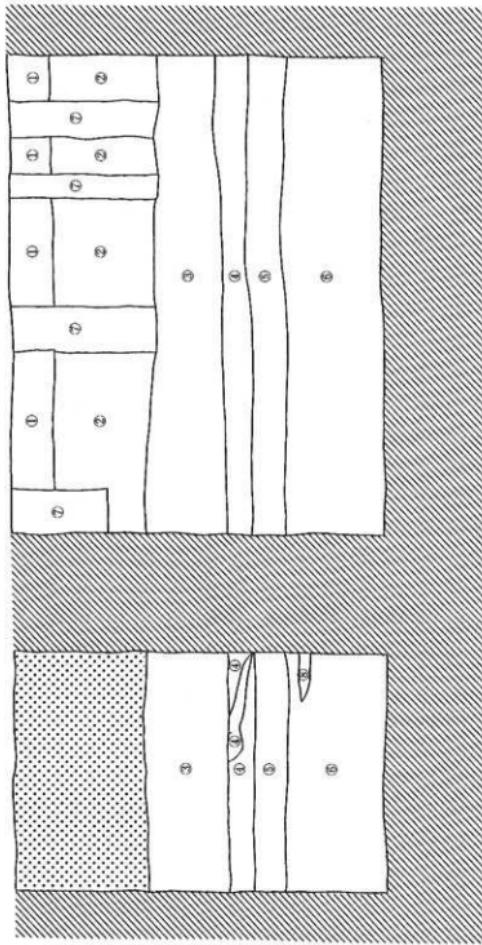


仲間原第1遺跡調査地



仲間原第1遺跡調査地平面図

東側トレンチ①



図版 7

1(Ⅲ)

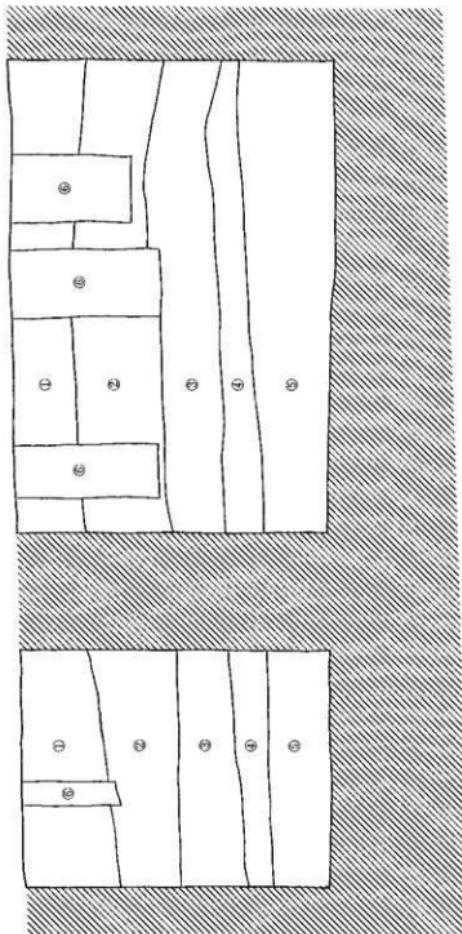


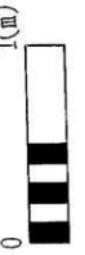
仲間原第1道路土層断面図 (1)



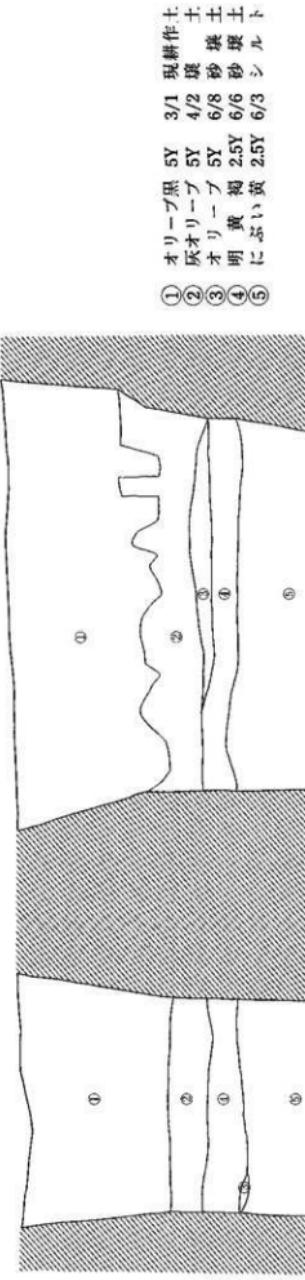
仲間原第1遺跡土層断面図 (2)

- |       |      |     |       |
|-------|------|-----|-------|
| オリーブ黒 | 5Y   | 3/1 | 現耕作土  |
| 灰オリーブ | 5Y   | 4/2 | 壤 土   |
| 暗オリーブ | 5Y   | 4/3 | 砂 壤 土 |
| オリーブ  | 5Y   | 6/8 | 砂 操 土 |
| にぶい黄  | 2.5Y | 6/4 | シ ル ト |
| 黒     | 5Y   | 2/1 |       |





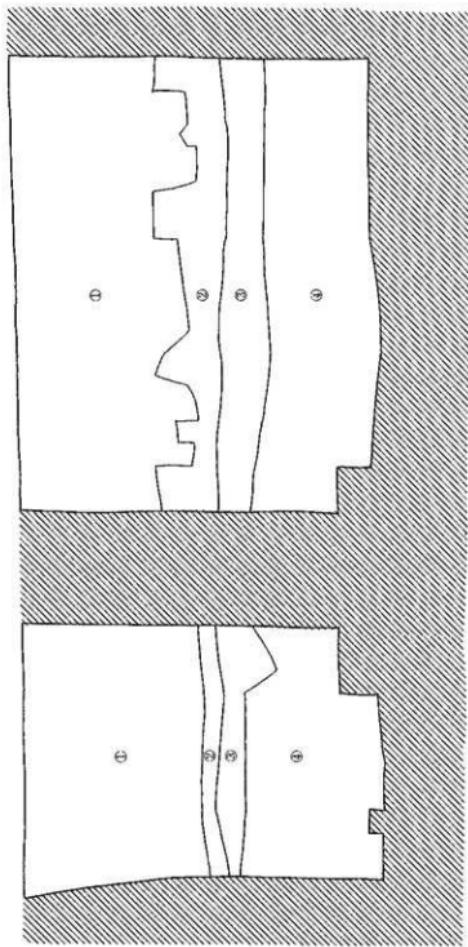
仲間原第1道路土層断面図 (3)



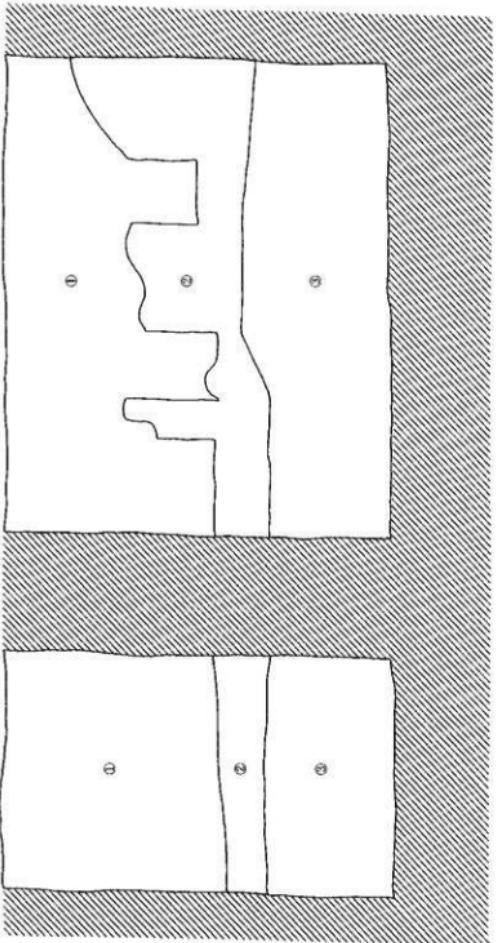


仲間原第1道跡土層断面図 (4)

- ① オリーブ黒 5Y 3/1 現耕作土  
(MSV 2/1褐色)  
② 灰オリーブ 5Y 4/2 灰 土  
③ 明 黄 褐 2.5Y 6/6 砂 壤 土  
④ にぶい黄 2.5Y 6/3 シルト



— — — — —

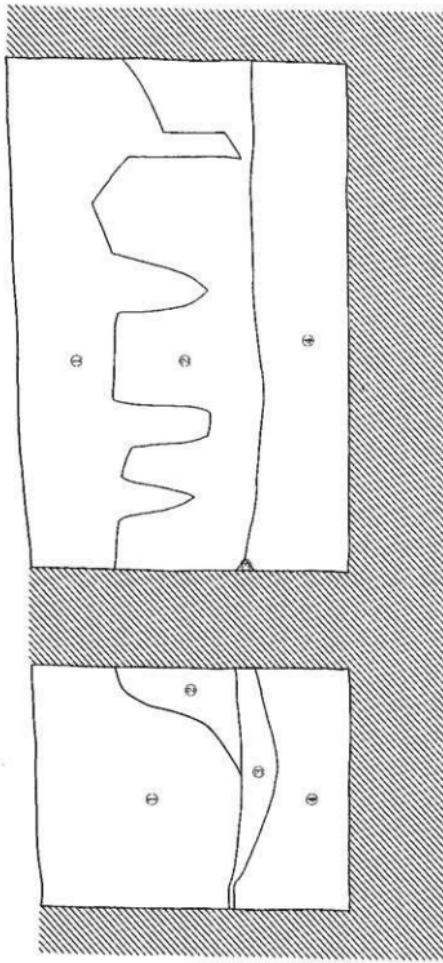


仲間原第1遺跡土層断面図（5）

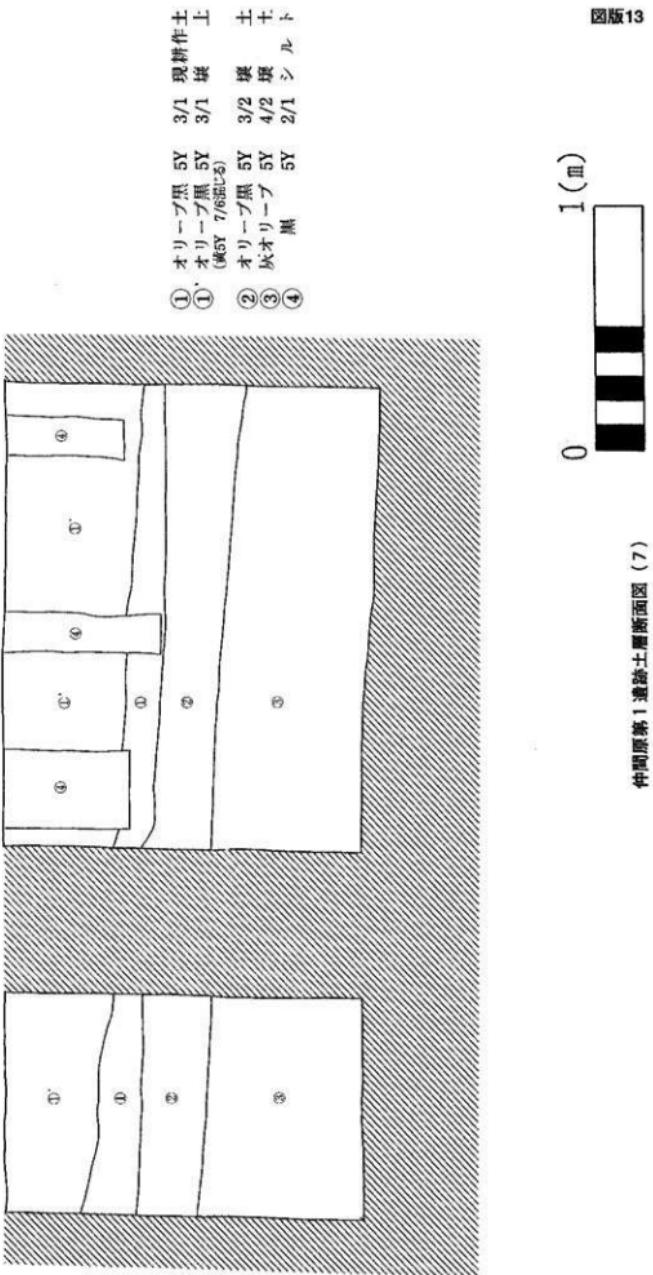


仲間原第1道路土層断面図 (6)

- |              |          |
|--------------|----------|
| ① オリーブ黒 5Y   | 3/1 現耕作土 |
| (65Y 2/1混じり) |          |
| ② オリーブ黒 5Y   | 3/2      |
| ③ 暗オリーブ 5Y   | 4/3 塗 土  |
| ④ 深オリーブ 5Y   | 4/2 シルト  |



## 東側トレンチ⑦



中間原第1遺跡土層断面図 (7)

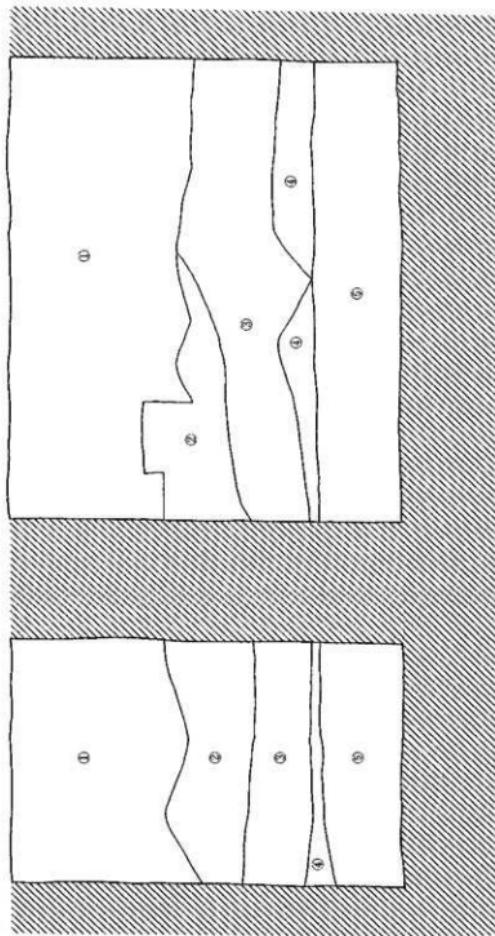
東側トレンチ⑧

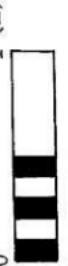
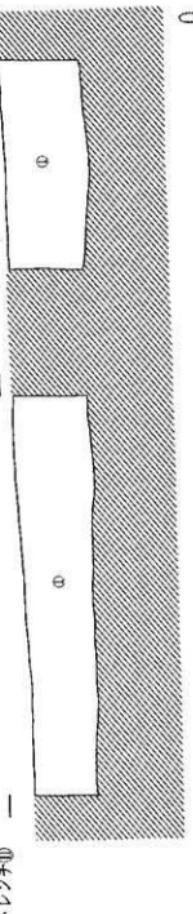
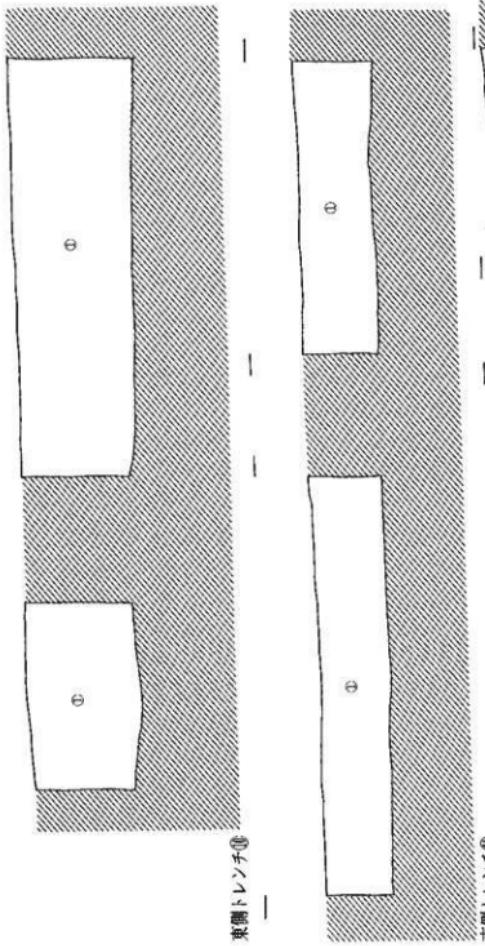
図版14



仲間原第1 滞跡土層断面図 (8)

- | 順位 | 色     | 厚さ | 地質                       |
|----|-------|----|--------------------------|
| ①  | オリーブ黒 | 5Y | 3/1 現耕作土<br>(MSY 7/6混じる) |
| ②  | 灰オリーブ | 5Y | 4/2 塗 土                  |
| ③  | 暗オリーブ | 5Y | 4/3 塗 土                  |
| ④  | オリーブ  | 5Y | 6/8 塗 土<br>(MSY 2/2混じる)  |
| ⑤  | にじい黄  | 2Y | 6/3 シルト                  |

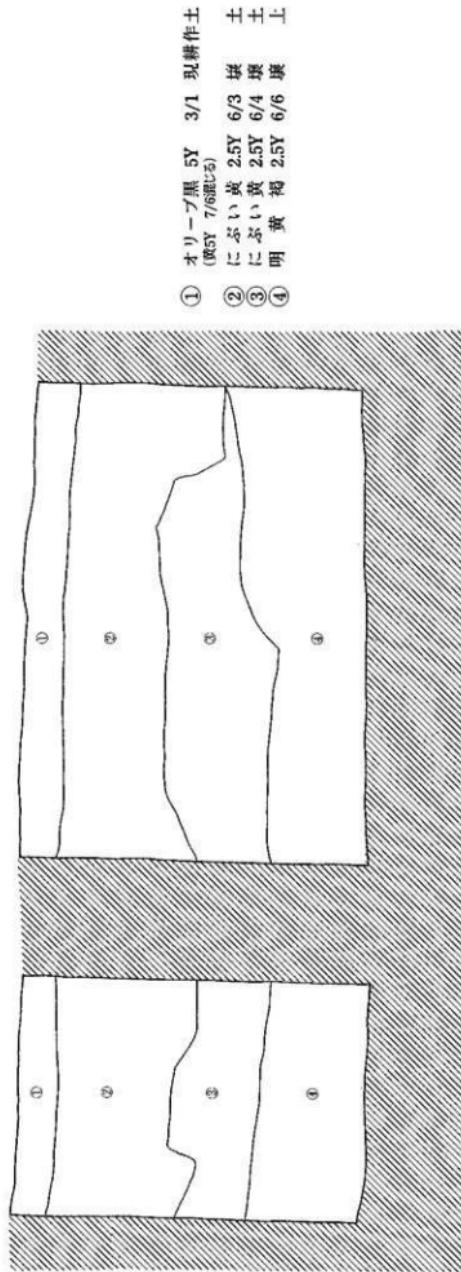




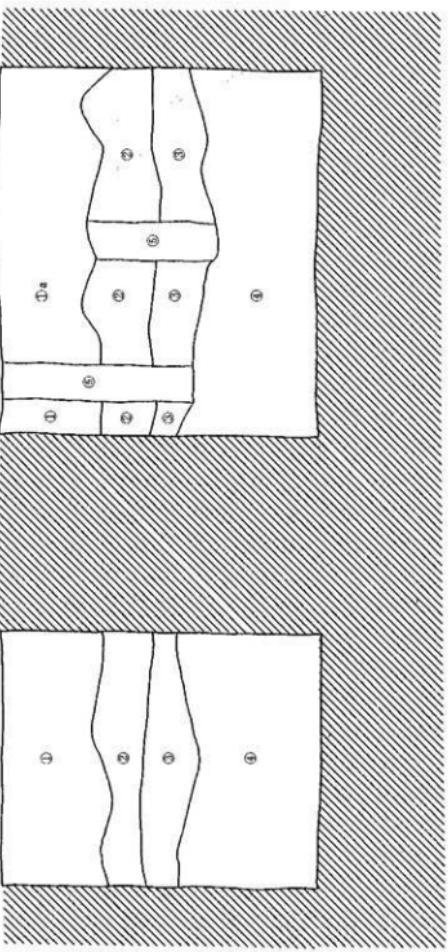
仲間原第1 造路土層断面図 (9)



仲間原第1遺跡土層断面図 (10)

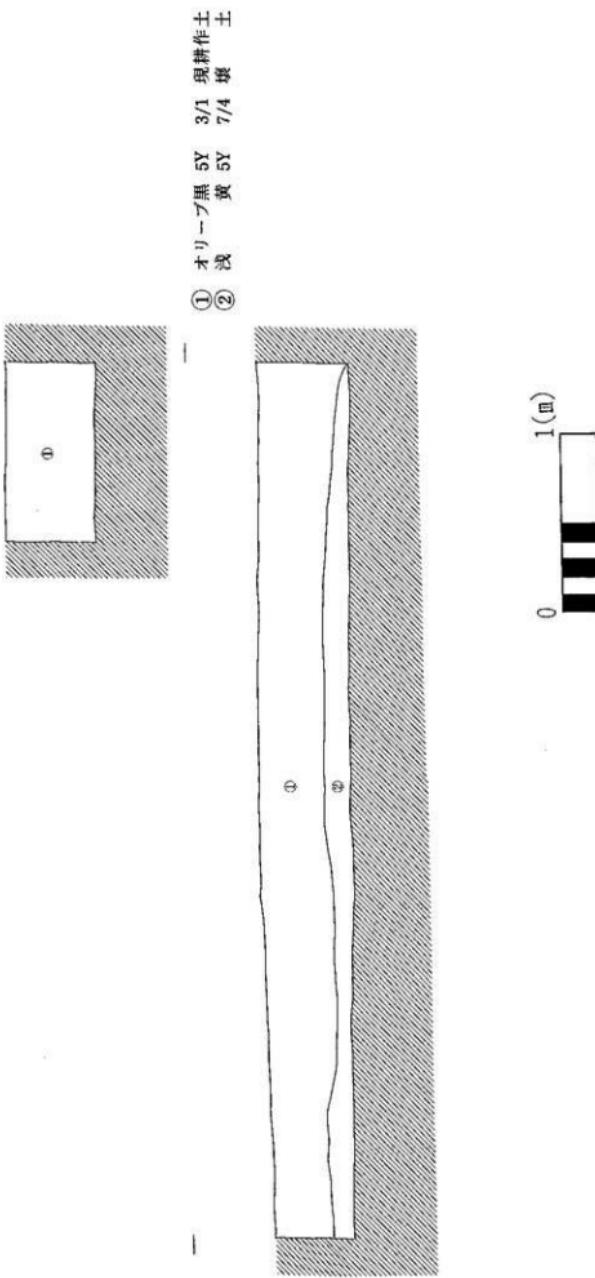


①	オリーブ黒	5Y	3/1	現耕作上
①a	オリーブ黒 (5Y 7/6記)	5Y	3/1	現耕作土
②	にぶい黄	2.5Y	6/3	壤
③	にぶい黄	2.5Y	6/4	壤
④	明黄	2.5Y	6/6	壤
⑤	黒	5Y	2/1	壤

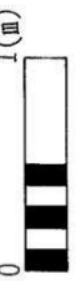


仲間原第1道跡土層断面図 (11)

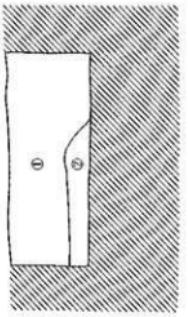
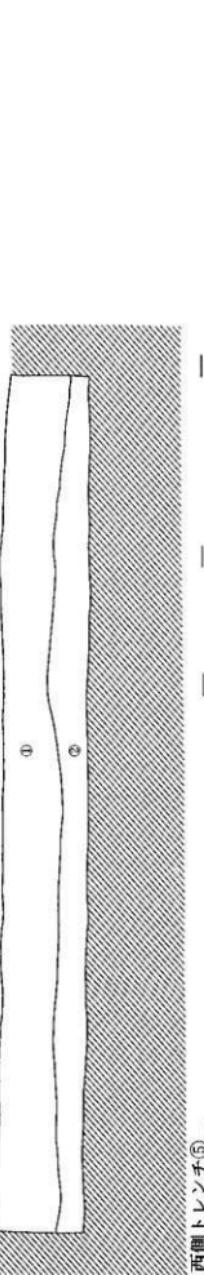
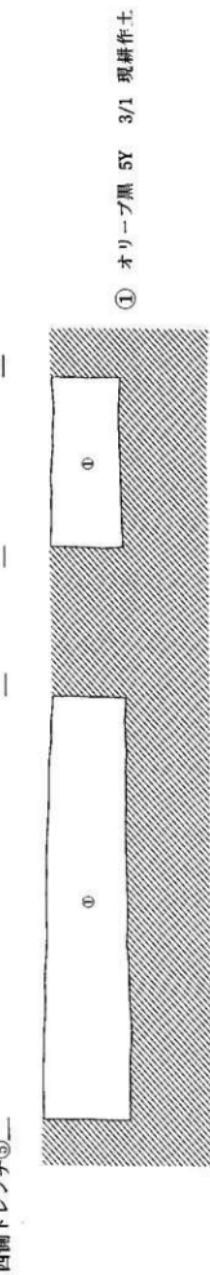
仲間原第1道路土層断面図 (12)



## 西側トレンチ③



仲間原第1壕跡土層断面図 (13)



西側トレンチ④

西側トレンチ⑤—



仲間原第1遺跡作業風景写真



東トレンチ1



東トレンチ2



東トレンチ3



東トレンチ4



東トレンチ5



東トレンチ6



東トレンチ7



東トレンチ8

仲間原第1遺跡遺構写真（1）



東トレンチ9



東トレンチ10



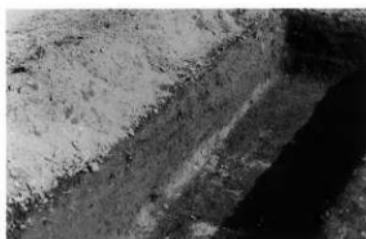
東トレンチ11



西トレンチ1



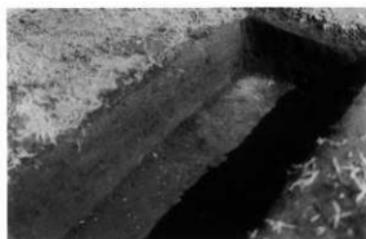
西トレンチ2



西トレンチ3



西トレンチ4



西トレンチ5

仲間原第1遺跡遺構写真（2）



(1)



(2)



(3)



(4)

仲間原第1遺跡遺物写真（1）



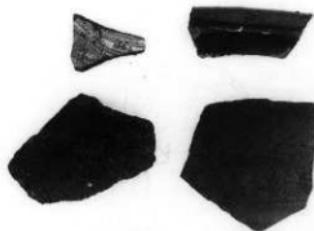
⑤



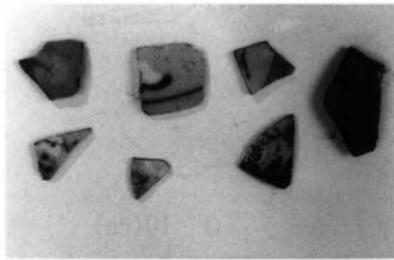
⑥



⑦



⑧

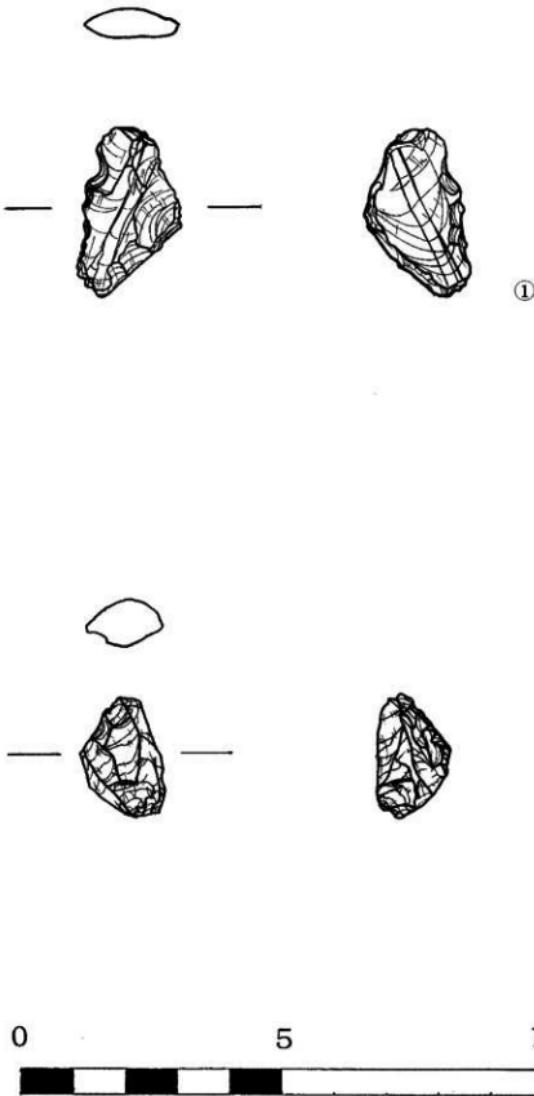


⑨

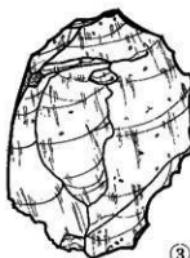
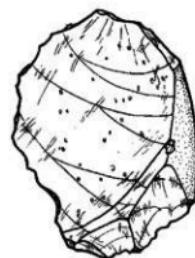


⑩

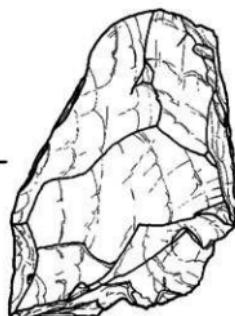
仲間原第1遺跡遺物写真（2）



仲間原第1遺跡遺物実測図（1）



③



④



0

5

10(cm)



仲間原第1遺跡遺物実測図(2)

## 第4章 おわりに

- 西ノ城遺跡は、佐土原丘陵南端に位置し、平成元年度から2年度にかけて佐土原町教育委員会が行った「佐土原町遺跡詳細分布調査」で「西ノ城遺跡」（7010）として“周知の埋蔵文化財包蔵地”に登録された。また平成5年度から10年度にかけて宮崎県教育委員会により進められた『宮崎県中近世城館緊急分布調査』では、嶺ヶ城として扱われている。従って、当該地は立地・縄張り・考古学上において城郭遺構であると認識されている。  
しかしながら、今回発掘調査した箇所は、後世の耕作などにより掘削を受け破壊されていた。
- 仲間原第1遺跡は、都於郡・仲間原台地の東側に位置し、付近には別府原・西ヶ迫遺跡（東九州自動車道建設に伴う事前調査で確認）など多くの先史時代の遺跡が点在する。地質は、主に上層からアカホヤ火山灰（Ah）、イワオコシ（Iw）、第3オレンジ（Or 3）と層を形成している。当該地域の地形は、自然地形の凹地にある。さらには後世の耕作により深いところで1m前後の掘削を受けている。そのためか、遺構は確認できず、遺物も土器小片と石器片がわずかに出土するに留まった。

## 報告書抄録

ふりがな	さどわらちょうないいせき7				
書名	佐土原町内遺跡Ⅶ				
シリーズ名	佐土原町文化財調査報告書				
シリーズ番号	第27集				
編著者名	佐土原町教育委員会				
所在地	〒880-0297 宮崎県宮崎郡佐土原町大字下田島20660番地				
発行年月日	2004年(平成16年)3月31日				
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	遺跡番号	調査期間	調査面積	調査原因
にしのしろいせき 西ノ城遺跡	さどわらちょうおおあざ 佐土原町大字 しもなか 下那珂 あざにしのしき 字西ノ城	7010	平成15年4月21日～ 4月23日	225m <sup>2</sup>	携帯・自動車 等の無線基地 局設定
ちゅうげんばるだいいせき 仲間原第1遺跡	さどわらちょうおおあざ 佐土原町大字 かみたじま 上田島 あざちゅうげんばる 字仲間原	7006	平成15年5月28日～ 7月24日	1,000m <sup>2</sup>	県営農免農道 戸田3期地区 整備事業

宮崎県佐土原町文化財調査報告書第27集

**佐土原町内遺跡Ⅶ**

2004年3月31日

編集・発行 宮崎県宮崎郡佐土原町教育委員会  
〒880-0297 宮崎県宮崎郡佐土原町大字下田島20660番地  
TEL 0985-73-1111

印 刷 光洋印刷株式会社  
〒880-0211 宮崎県宮崎郡佐土原町大字下田島10131番地  
TEL 0985-73-3594